

敷地より低い駐車スペースを作成する

敷地より低い駐車スペースがある場合や道路よりも高い位置に敷地を作成する場合の作成方法です。
立体化したときの家の基礎高、1階床高を調整し、道路と敷地との段差を「ポーチ」の部屋を利用して作成します。
ここでは、道路と敷地の高低差が「600mm」違うケースで作成しています。

作成例



「3DマイホームデザイナーLS3」で作成しております。

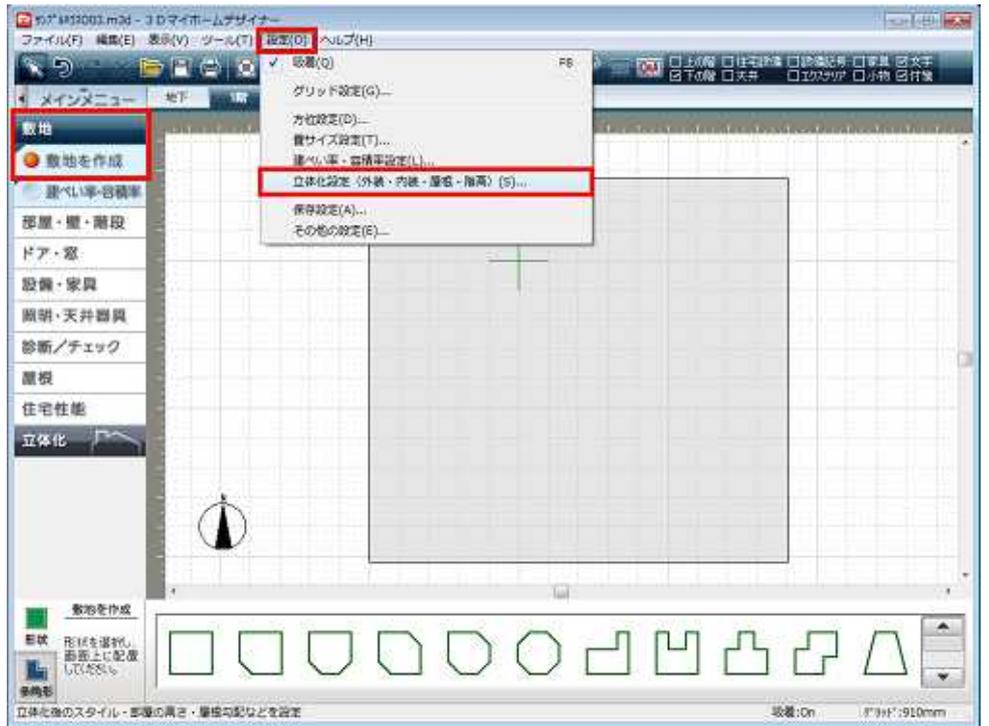
対象バージョン 3DマイホームデザイナーLS3/LS2/マイホームデザイナーLS

操作 1 敷地を作成して、階高を設定します。

1) ナビの[敷地] [敷地を作成]を選択して敷地を作成します。

2) [設定]メニューの[立体化設定 (外装・内装・屋根・階高)]を選択します。

ここでは、後の手順で作成する高低差と区別しやすいように、敷地の塗り潰しの色を設定しています。色の設定は、作成した敷地をダブルクリックして表示される[敷地のプロパティ]でおこないます。



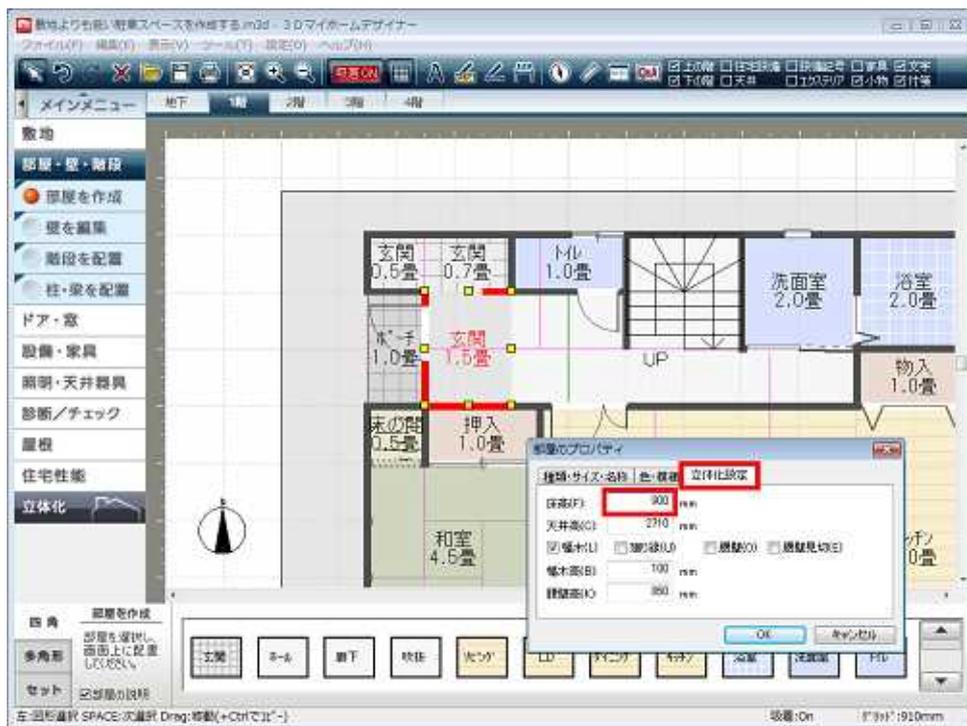
3) [階高・壁厚]タブに切り替え、「1階床高」、「基礎」、「地下階高」に道路と敷地の高低差分を足した数値を入力します。

ここでは、「600mm」の高低差分を足しているため、
 1階床高:610mm 1210mm
 基礎高:400mm 1000mm
 地下階高:3010mm 4010mm
 としています。

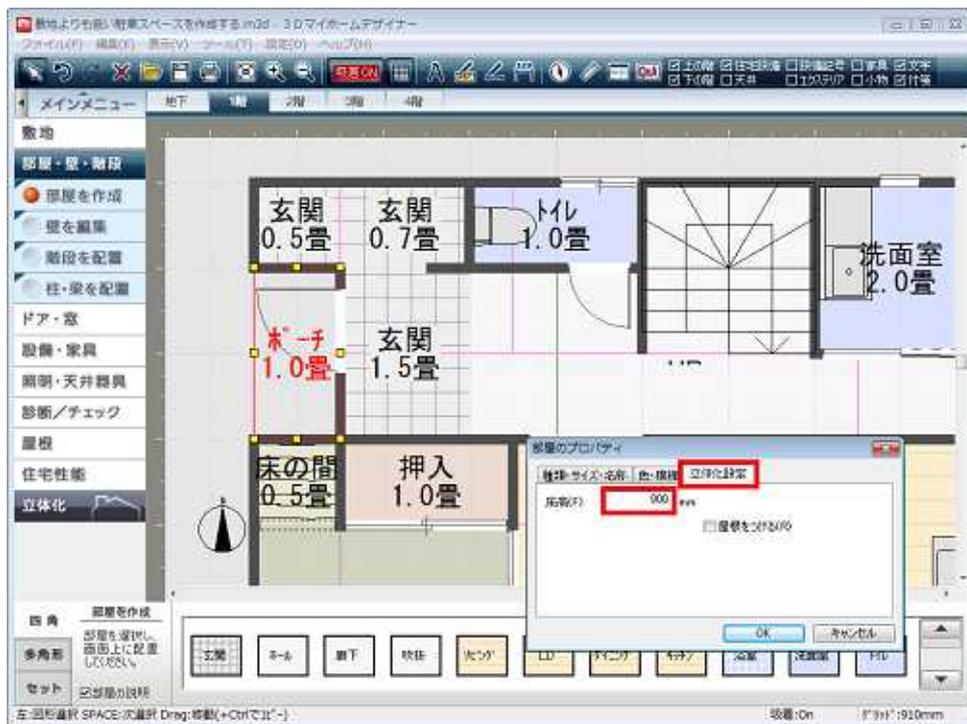


操作 2 間取りを作成し、玄関とポーチの床高を調整します。

- 1) 間取りを作成し、玄関をダブルクリックします。
- 2) [部屋のプロパティ]を[立体化設定]タブに切り替え、「床高」に道路と敷地の高低差分(600mm)を足した数値を入力します。
ここでは、「900mm」としています。

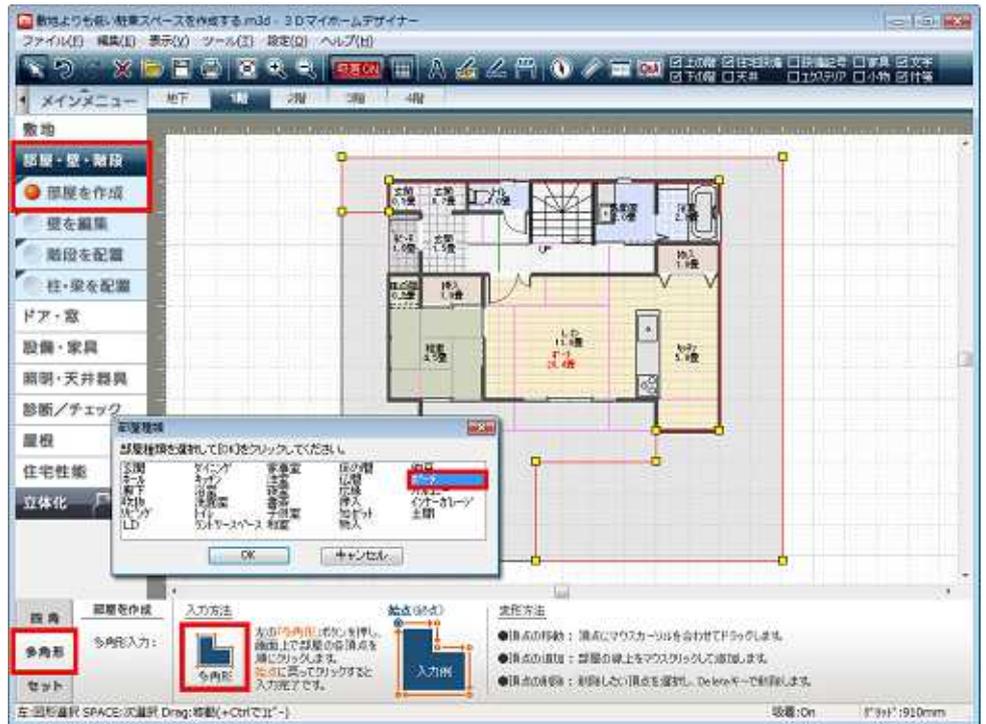


- 3) ポーチをダブルクリックします。
- 4) [部屋のプロパティ]を[立体化設定]タブに切り替え、玄関と同様、「床高」に道路と敷地の高低差分(600mm)を足した数値を入力します。

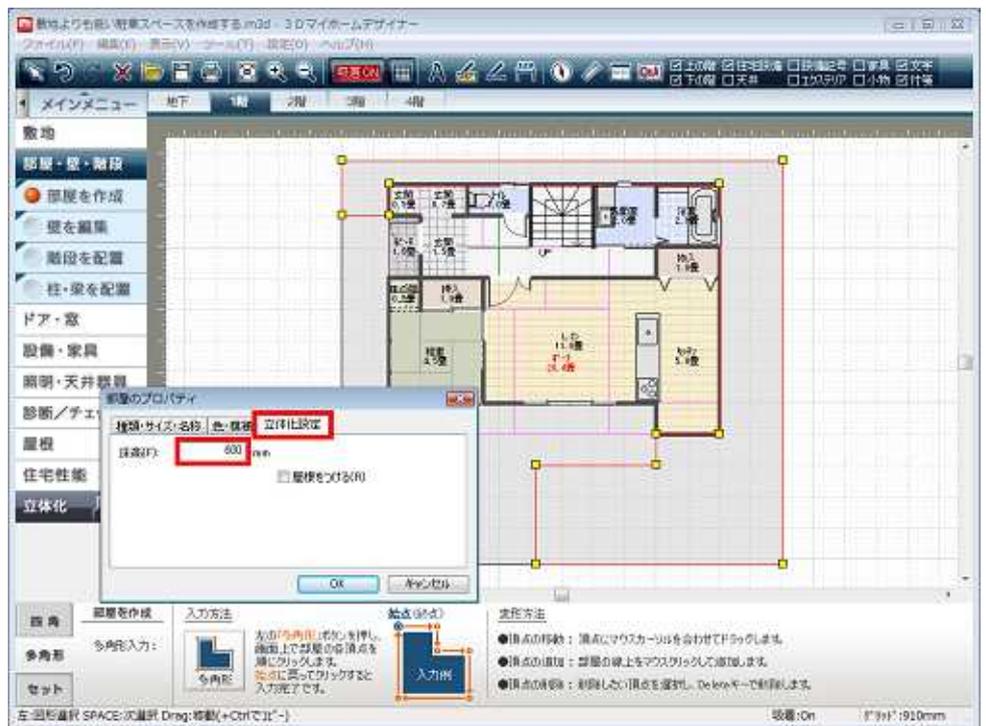


操作3 「ポーチ」の部屋で道路と敷地の高低差と、道路から玄関ポーチまでのアプローチ階段を作成します。

- 1) ナビの[部屋・壁・階段] [部屋を作成]を選択し、パレットを[多角形]に切り替えます。
- 2) パレットの[多角形]ボタンをクリックし、作業エリア上で道路よりも高いエリアの頂点を順番にクリックしていき、最後に入力開始地点をクリックします。
- 3) [部屋種類]で「ポーチ」を選択して[OK]をクリックします。



- 4) 作成したポーチをダブルクリックします。
- 5) [部屋のプロパティ]を[立体化設定]タブに切り替え、「床高」に道路と敷地の高低差「600mm」と入力します。



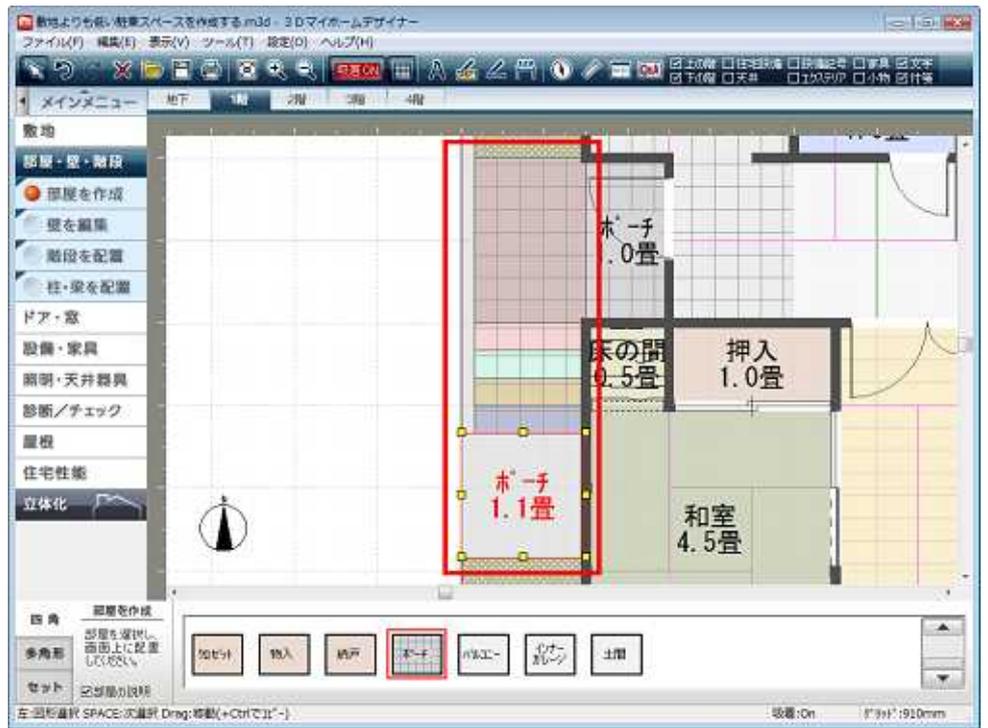
6) 玄関ポーチと道路までのアプローチ階段を作成します。

パレットを[四角]に切り替え、「ポーチ」を選択して、必要な段数分のポーチを配置します。

ここでは、段数が判りやすいように、ポーチの色を変更しています。

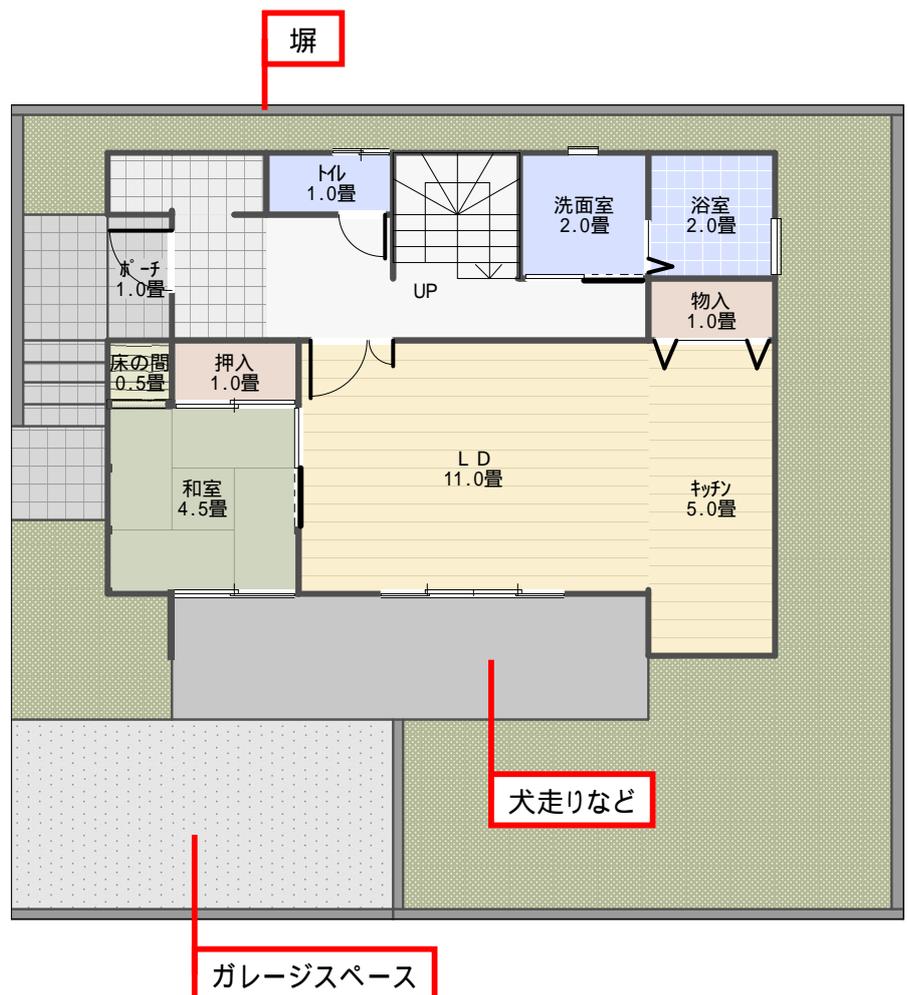
7) 作成したポーチをそれぞれダブルクリックし、[部屋のプロパティ]を[立体化設定]に切り替え、「床高」にそれぞれの階段の高さを入力します。

ここでは、道路に接するポーチから、10mm、150mm、300mm、450mm、600mm、750mmと設定しています。



「ポーチ」のサイズと床高を編集することで、塀やガレージスペース、犬走りなどが表現できます。

「ポーチ」を配置した箇所は、立体化してからそれぞれのポーチに対して、別々のテクスチャや色を貼り付けることができます。



操作 4 立体化して敷材を貼り付けます。

- 1) ナビの[立体化]をクリックします。
- 2) 立体化したら、3D画面でナビの[エクステリア検討] [敷材を貼る]を選択します。
- 3) テクスチャパレットから芝生、タイルなどのテクスチャを選択し、「ポーチ」で作成した高低差やアプローチ階段に貼り付けます。

